

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	都市計画論
科目基礎情報					
科目番号	94042		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建設工学専攻A		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	/適宜プリントを配布する。				
担当教員	野田 宏治				
到達目標					
(ア)環境共生都市の考え方を理解し、説明することができる。 (イ)自然との共生、自然の保全や再生を理解し、説明することができる。 (ウ)ゼロエミッションとリサイクルの必要性を理解し、積極的な参加とその重要性を説明することができる。 (エ)高齢化社会の到来にともなう社会生活や社会構造の変化を理解し、説明することができる。 (オ)自動車交通から公共交通への転換を理解し、パークアンドライド、キスアンドライドを説明することができる。 (カ)公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化について理解し、バリアフリー法を説明することができる。 (キ)近年の国土形成に係わる社会情勢を説明することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目(ア)	環境共生都市の考え方を理解し、説明することができる。		環境共生都市の考え方を理解できる。		環境共生都市の考え方を理解できない。
評価項目(イ)	自然との共生、自然の保全や再生を理解し、説明することができる。		自然との共生、自然の保全や再生を理解できる。		自然との共生、自然の保全や再生を理解できない。
評価項目(ウ)	ゼロエミッションとリサイクルの必要性を理解し、積極的な参加とその重要性を説明することができる。		サイクルの必要性を理解できる。		サイクルの必要性を理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 B3 建築分野の実社会に必要で役立つ知識や技術を応用して問題を解決する能力を修得する。 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 本校教育目標 ① ものづくり能力					
教育方法等					
概要	20世紀は開発型の都市整備を行ってきた。21世紀は、環境との共生を唱えた保全・再生型の都市整備を求め、今ある施設や設備を有効に最大限利用し、潤いのある都市づくりや節約型の都市づくりが求められている。一方で、2015年には65歳以上の高齢者が25%を越え、高齢化社会が加速する。いままでの健康者を中心とした社会構造から高齢者・身障者にとっても暮らしやすい社会構造への転換や都市構造の変革を身近なゴミ問題や交通問題などを題材として学ぶ。				
授業の進め方・方法					
注意点	日頃から社会問題に興味を持ち、自分の考えを持つこと。新聞を読み、社会変動を捉えること。 参考図書：国土交通白書 2016 平成28年度年次報告、環境白書 2016				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティ	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティを理解する。	
		2週	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティ	環境共生都市の考え方（エコシティ構築）：循環型社会、エコシティを理解する。	
		3週	自然環境との共生：ピオトープ、エコロード	自然環境との共生：ピオトープ、エコロードを理解する。	
		4週	自然環境との共生：ピオトープ、エコロード	自然環境との共生：ピオトープ、エコロードを理解する。	
		5週	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理を理解する。	
		6週	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理	ゼロエミッションとリサイクル：ごみのリサイクル、廃棄物処理を理解する。	
		7週	里山、里地の保全と再生：里山、里地	里山、里地の保全と再生：里山、里地を理解する。	
		8週	里山、里地の保全と再生：里山、里地	里山、里地の保全と再生：里山、里地を理解する。	
	2ndQ	9週	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化を理解する。	
		10週	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化	高齢化社会の到来（人口構成、社会変革）：高齢化率、社会構造変化を理解する。	
		11週	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライド	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライドを理解する。	
		12週	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライド	自動車交通から公共交通への転換：パークアンドライド、キスアンドライドを理解する。	
		13週	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザイン	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザインを理解する。	
		14週	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザイン	公共交通のバリアフリー化とユニバーサルデザイン化：交通バリアフリー法、ユニバーサルデザインを理解する。	
		15週	再生可能エネルギー、スマートグリッド	再生可能エネルギー、スマートグリッドを理解する。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	合計	
総合評価割合		80	20	100	
専門的能力		80	20	100	